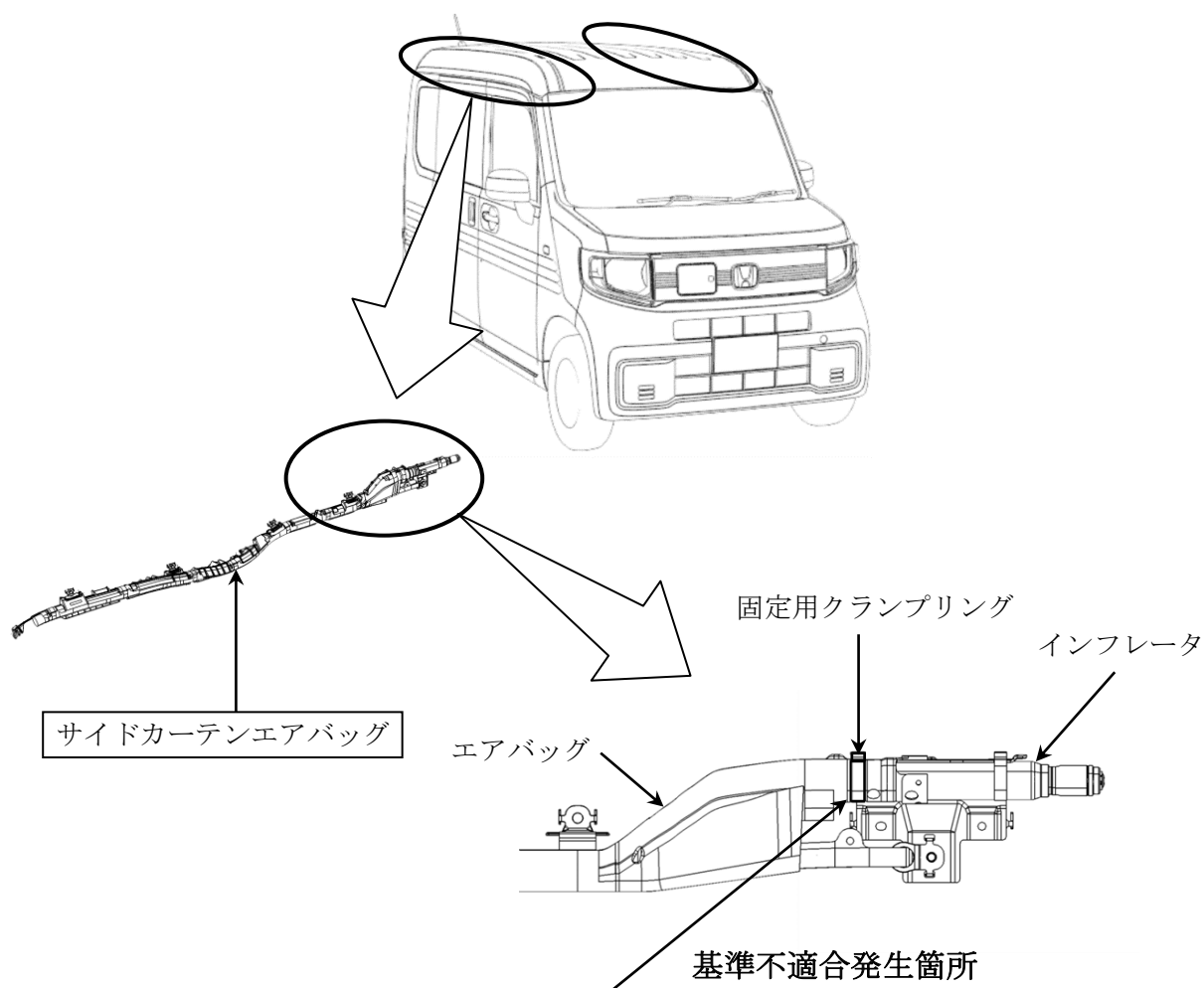


改善箇所説明図



サイドカーテンエアバッグにおいて、インフレーター（膨張装置）とエアバッグを固定するクランプリングのかしめ荷重の設定が不適切なため、過大な荷重でかしめられ、クランプリングの強度が不足しているものがある。そのため、車室内高温時にサイドカーテンエアバッグが展開した際、インフレーター内圧が増加し、クランプリングが破断してエアバッグが正常に展開できず、乗員保護性能を満足しないおそれがある。

改善の内容

- ①全車両、左右のサイドカーテンエアバッグを対策品と交換する。
- ②全車両、右のサイドカーテンエアバッグを対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：車台番号打刻の下二桁目上部に黄色ペイントを塗布する。